

令和4年度「ふるさと夢未来講演会」

学校教育課 教育魅力化推進係

1. 事業内容

- 本事業は、将来の「ふるさと」を担う人材育成をめざした、大田市の「おおだ教育魅力化推進事業」のなかの中学校・高等学校交流事業の取組である。

2. 目的

- 中学生と高校生が自分の未来社会の実現に向け、夢を実現した実践者の話を聞き、互いの感想や未来への夢を語り合う場をもつことで、「夢をもつこと」「夢の実現に向かって努力すること」の大切さについて学ぶ。

3. 日時

令和4年12月2日（金） 14:00～15:30

- ①開会行事（あいさつ・講師紹介） 14:00～14:05
- ②講演 14:05～15:05
- ③質疑応答（感想・意見交流を含む） 15:05～15:25
- ④閉会行事（謝辞・あいさつ） 15:25～15:30

4. 会場

あすてらす・ホール

5. 講師

国立研究開発法人海洋研究開発機構

海洋生物環境影響研究センター：センター長 藤倉 克則氏

【演題】 『深海生物や海洋プラスチック問題から教えられたこと』

【講師プロフィール】

藤倉 克則（ふじくら かつのり）

- 1964年 栃木県足利市生まれ育ち
 - ・ザリガニ、ドジョウ、鯉、フナと戯れながら育つ
- 東京水産大学大学院時に「しんかい2000」に乗って深海生物と戯れる仕事があるけどどう？と言われ、1988年 海洋科学技術センター（現 海洋研究開発機構）に就職し現在に至る
- 取り組んできた研究
 - ・深海生物研究
 - ・世界中の海洋生物多様性を知る国際プロジェクト「海洋生物のセンサス」
 - ・世界中の海洋生物の多様性を知るデータベース OBIS
 - ・巨大地震後の漁業復興に関する東北マリンサイエンス
 - ・海洋プラスチック研究 など
- 兼務した大学教員（教授、講師など）
 - ・日本大学 ・東京海洋大学 ・東海大学 ・東北大学 など
- 執筆した本
 - ・「海の生き物 100 不思議」〈東京書籍〉
 - ・「海洋生物の機能—生命は海にどう適応しているか」〈東海大学出版会〉
 - ・「潜水調査船が観た深海生物—深海生物研究の現在」〈東海大学出版会〉
 - ・「地球環境問題に挑む生態学」〈文一総合出版〉 他 多数
- 2013年、2017年 国立科学博物館特別展「深海」総合監修
- 趣味：魚釣り

